

Kokoro の歩み

1998-2003 年

展示室を開いていました

ホロコースト生還者を迎え、こどもフォーラムを開催。こどもグループ「小さなつばさ」結成。

アウシュヴィッツ博物館より「ハンナのかばん」を借りる。1年後にハンナの兄ジョージ・ブレイディ氏の生存が分かり、初来日へ。

杉原千畝に助けられた人たち 30 名に取材を行い、パネル展を制作。

2003-2008 年

展示室を閉じて学校訪問を始めました

カナダで児童書『ハンナのかばん』出版、ベストセラーに。世界 40 ヶ国でも出版。英語の教科書に登場。全国の学校へ訪問授業を始める。NPO 法人格を取得。

2009-2014 年

世界の子どもたちと交流も増えました

映画「ハンナのかばん」完成。カナダ、ドイツ、メキシコ、南アフリカ等の学校も訪問。舞台「ハンナのかばん」(劇団銅鑼)、全国を巡演中。

2014-16 年

国連で発表しました

アウシュヴィッツ博物館より「ハンナのかばん」の寄贈を受ける。訪問授業が全国 1,000 校を超える。

セミナー「ドイツの”記憶の文化”を考える」シリーズ開催。

ワシントン大学より「特別功労賞」を授与される。国連でホロコースト教育の活動を発表。

事務所を新宿区から品川区へ移転。

いろんなかたちで皆さまから 支えていただいています

<https://www.npokokoro.com/support>

たとえば、ツイッターやフェイスブックでシェアしていただくだけでも、Kokoro にとって大きな支援になります。

 npo.therc  npo_therc

▶お買い物で支援

児童書『ハンナのかばん』など関連書籍を Kokoro にご注文いただくと、印税と売上の一部が活動資金に充てられます。



▶ボランティア募集中

子どもたちの学びを記録したり、教材映像を制作するため、写真撮影やビデオ編集などご協力いただける方を募集中です。

▶会員も募集中です

正会員

企画や運営、広報に参加したい！

- ・年会費 5,000 円
- ・年 1 回の会員総会で議決権があります
- ・通信やイベントのご案内をお送りします

賛助会員

活動には参加できないけど、会費で支援したい！

- ・年会費 一口 3,000 円より
- ・通信やイベントのご案内をお送りします

会費・ご寄付のお振込み先

- ・郵便振替口座 00180-4-277325
加入者名 ホロコースト教育資料センター
- ・銀行口座
三菱東京 UFJ 銀行 表参道支店
普通口座 1850011
特定非営利活動法人ホロコースト教育資料センター

命を尊ぶ、思いやりのある



ココロを育むために



一人ひとりがかけがえのない命
自分らしく生きる 人を思いやる
寛容な社会をつくりたい



NPO 法人ホロコースト教育資料センター(愛称 Kokoro)

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-14-58 クリエイト目黒 103

TEL:03-6450-3413 FAX:03-6450-3404

Email: kokoro.org@gmail.com ホームページ: <http://www.npokokoro.com>

代表ごあいさつ

第二次世界大戦時にナチ・ドイツとその占領下のヨーロッパで起きた虐殺、ホロコースト。「ユダヤ人である」、それだけの理由で殺された人の数は約 600 万人。そのうち約 150 万人は子どもでした。障がい者やロマ(ジプシー)の人々も犠牲となりました。

日本に暮らす私たちから見ると、遠いできごとに感じられるかもしれません。でも、差別や偏見、異なるものを受け入れることができない人間の弱さ、ホロコーストをつくりだしたものは、いつの時代も、どんな社会にとっても、乗り越えていきたいチャレンジです。差別や偏見は、無くなることはないかもしれません。でも、Kokoro は、それらに立ち向かうことができる強さと優しさを子どもたちの心に育みたいと願っています。

Kokoro が目指すことは、ナチを糾弾することでも、ユダヤ人の死をただ悲しむことでもありません。ホロコーストは、なぜ起きたのか。それを考えること。ホロコーストの歴史を通して、人間を知る。世界を知る。それが、わたしたち Kokoro の目指している教育です。

グローバル化の時代、国や民族の枠を超えて、政治も経済も、一人ひとりの暮らしもますます深く関わり合っています。同時に、格差や価値観の対立、分断を生み出しています。Kokoro は教育の力で平和をつくりだしたい。どうぞ皆さまのご支援をお願いいたします。

Kokoro 代表 石岡史子



Kokoro が目指す教育 ～Mission

- ◇ 一人の命の尊さを考える
- ◇ 差別や偏見を生み出した人の心の弱さを学ぶ
- ◇ 他者の痛みを想像し、思いやる心を育む
- ◇ 多様な文化、民族、宗教を知り、広い視野をもつ
- ◇ 平和をつくりだすために自分ができることを考える

「ホロコーストを学ぶ理由は、私たちがもっと人間らしく、心やさしく、思いやり深くなるためです。」

デズモンド・ツツ
反アパルトヘイトの闘志
ノーベル平和賞受賞者

こんな活動をしています

学校訪問授業

小学校での命の授業や道徳授業、中学・高校の人権・平和学習などで全国の学校にお伺いしています。

パネル貸出

自治体の人権週間のイベントや平和展などに展示パネルの貸出をしています。

講演会・ワークショップ

自治体の人権啓発・平和事業や、PTA の家庭教育学級で講演会、どなたでもご参加いただけるイベントを行っています。

国連「ホロコースト国際デー」

アウシュヴィッツが解放された 1 月 27 日は、国連が定めた「ホロコースト国際デー」です。毎年、この日の前後に上映会や講演会などを実施しています。

アウシュヴィッツスタディーツアー

アウシュヴィッツ、ドイツやオランダなどへの大学生スタディーツアーを引率しています。

出版・広報啓発活動

スタディガイドの出版や通信、メルマガの発行等、歴史を身近に考えられるような情報発信を行っています。



Kokoro の主な教材

命の授業、道徳、人権・平和学習、国際理解、市民学習などでご活用いただいています

ハンナのかばん 命への想像力を育む。小学校高学年から大人まで。	杉原千畝と日本にやってきた難民たち 助けられた人たち 30 人に取材をしました 人々の「善の連鎖」から学ぶ。中学生以上。
生きのびた少年ジョージ ハンナのかばん続編 学び合いと助け合いの心を育む。保護者におすすめ。	アンネ・フランク 自他を尊重する心を育む。小学生から。ワークショップ形式あり。
ベルリン記憶の街歩き スライド写真で「散歩」をしながら、歴史と記憶のカタチをたどる。大学生、教員研修向け。	なぜホロコーストは起きたのか 講義とワークショップ、計 3 時間より。高校生以上。

※それぞれのテーマで、小学校高学年、中学生、高校生、大人向けの構成でお話会／講義またはワークショップ形式で実施します。